

市議会 3月定例会 市長施政方針

3月1日に開会した市議会定例会で近藤市長が表明した、市政運営に対する基本的な考え方や平成29年度主要施策の要旨についてお知らせします。

新庁舎を基点に住み良さを実感できる 持続可能なまちづくりにまい進します



近藤市長

保健・医療・福祉

- 市民の健康づくり
- 地域医療に関心を持つ児童・生徒を増やすため、地域医療教育推進事業を拡充します。
- 医療従事者の市内就職・定着を図るため、「地域医療を守る交流会」を開催します。
- 骨髄等の提供者の負担を軽減する安来市骨髄移植ドナー支援事業を実施します。
- 新改革プラン案をまとめた市立病院は、経営改革を確実に実行し、持続可能な病院経営を継続し、必要な医療を提供します。
- 地域福祉
- 困難を有する子ども・若者やその家族等の支援を行う、子ども・若者総合相談支援を実施。

● 高齢者福祉

- 新たに組織する在宅医療・介護連携支援センターにより、医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するための支援を行います。
- 交通機関の利用が困難な寝たきりなどの在宅高齢者への外出支援サービスを行います。
- 特別養護老人ホーム伯寿の郷改修工事などのインフラを整備します。
- 障がい者福祉
- 地域の相談支援の中核的な役割を担う拠点として、総合的な相談業務を実施する「安来市基幹相談支援センター」を設置し、支援体制の充実を図ります。

将来にわたり地域で安心して暮らすために
4月に2つの支援センターを設置予定です



在宅医療・介護連携支援センター

医療と介護をつなぐ、『安来市在宅医療支援センター』を安来市医師会病院（伯太町安田）に設置する予定です。医療・介護関係者からの相談などに対応する窓口の運営、医療・介護体制の確保、市民の皆さんへの在宅医療・介護に関する情報提供などを行います。



安来市基幹相談支援センター

障がいのある人やその家族を支援するための総合相談施設。4月から安来地域活動支援センター「ステップ」（安来町）内に設置予定。相談支援専門員・社会福祉専門職など専門員を配置し、各関係機関や障がい者等の相談を受け、解決のための情報提供や助言等を行います。





◀新しいひろせ図書館の整備に向け、基本設計を始めます。写真は宇賀荘小学校の図書館まつりの様子。

子育て・教育・文化

- 子育て支援
 - ・赤江保育所を民間法人に譲渡し、譲渡先法人が行う「あかえこども園」の改修事業に対し助成します。
 - ・新生児聴覚検査費用の助成。
 - ・市出生児へ記念品贈呈します。
 - ・中学3年生まで乳幼児医療費無料化に拡充した助成を継続。



▲法改正により耐震不足となった市民体育館。平成29年度に設計業務、その後、改修を行います。

▼4月から出生児に対し、市内木工事業所製作の「フォトフレーム」を贈呈します。



- 学校教育
 - ・普通教室へのエアコン設置を平成29年度に完了させます。
 - 生涯学習
 - ・「結集！しまねの子育て協働プロジェクト支援事業」として、学校支援活動、放課後支援活動、家庭教育支援、人材養成講座などを実施。子どもたちを地域全体で育む環境づくりを進め、学校、家庭および地域の連携・協働に努めます。

- 史跡富田城跡
 - ・千畳平・馬乗馬場地区の石垣・曲輪の視界を遮る樹木の伐採、ガイドランス機能を持たせるための歴史資料館改修工事などの整備を進めます。
 - ボランティアガイド養成や観光案内業務の充実を図り、地域のシンボル・生涯学習の場として誘客を推進します。

- 文化・芸術活動
 - ・安来市総合文化ホール「アルテピア」の9月開館に向け、建設工事を進めます。開館後は、歌舞伎公演などさまざまな事業を計画し、市民が文化芸術に親しみやすい環境づくりを進めます。

- スポーツ活動
 - ・安来市民体育館耐震改修工事の設計および老朽化したスポーツ施設の改修工事などを進め、スポーツ文化を支える環境整備に取り組みます。

防災・防犯



▲2月に雲南市・雲南市とともに中国電力と安全協定を締結。

- 消防・防災対策
 - ・高規格救急自動車の更新、小型ポンプ付積載車の導入。
 - ・山佐分団消防拠点施設の建設・防火水槽整備などを行います。
 - 原子力防災対策
 - ・中国電力と「島根原子力発電所にかかる出雲市民、安来市民及び雲南市民の安全確保等に関する協定」を締結しました。今後も、立地自治体並みの安全協定の締結を目指します。
 - ・原子力防災訓練の実施など、万が一、事故が発生した際に迅速かつ適切な対応がとれる体制を構築します。



産業・観光・雇用

●農林水産業振興

・全国的に注目を集める就農・定住パッケージ事業による担い手の確保と園芸産地の活性化を図ります。

・地域おこし協力隊員の活動を支援し、農業・農村の活性化と定住を促進します。

・循環型林業を推進し、雇用を創出します。

・中海の水産資源再生を支援。

・第11回全国和牛能力共進会(9月・宮城県)に県代表として能義和牛育種組合から出品されます。安来和牛の名声を高めるよう支援します。

●生産基盤の整備
 ・「大塚地区」・「安田地区」のほ場整備を推進するとともに、新たな採択地区として「吉田地区」「宇賀荘第三地区」の農地整備事業に着手します。

・基幹農道である大郷農道整備の推進と中山間地域総合整備事業による、農業用施設の補修、更新等の再整備に取り組む調査を引き続き実施します。



▶地域おこし協力隊員の小田ちさとさん。隊員の積極的な活動は地域活性化の中核に。

●商工業振興

・新たな工業団地整備に向け、オーダーメイド貸工場の建設、企業等の新設・増設への支援などにより、企業誘致や雇用の創出に取り組みます。

●産業サポートネットやすぎ

・新規事業や技術・商品開発、販路拡大などの支援や、市の代表的な集積産業である特殊鋼関連産業など、ものづくり企業の新製品及び新技術の開発並びに取引拡大の支援により、市内商工業の活性化に取り組みます。

◀商店などの店主が先生となるまちゼミ。専門的な知識が学べる多くの人が参加します。



●中心市街地の活性化

・やすぎ懐古館一風亭の活用や「まちゼミ」などを実施します。

●観光客誘致

・外国人観光客増加を視野に入れ、新たに中海・宍道湖・大山圏域DMO(観光地域づくり組織)を設立し、経済界との連携を密にし、インバウンド対策や国内誘客を推進します。

・新ご当地グルメのPRや安来市市観光キャンペーンなど安来市らしさを生かした観光資源の開発・着地型観光を推進します。

都市基盤・生活分野

●道路・交通網

・切川バイパスが一日も早く開通するよう、関係当局に働きかけながら可能な限り努力をします。

・生活道路である杉谷線、本町御笠線の改良などを進め道路・交通ネットワークの向上に努めます。

・山陰道安来道路へのスマートインターチェンジ設置に向けて調査・検討を行います。

・中海架橋実現について、米子市をはじめ圏域構成市などと連携し、実現に向け働きかけを行います。

●住環境の整備

・「安来市空家等対策計画」を策定し、空家対策を総合的かつ計画的に実施します。

・民間賃貸住宅建設にかかる費用の一部を助成し、民間活力による住宅建設を促します。

●南十神地区の内水対策
 ・29年中のポンプ稼働を図ると共に、周辺の側溝改修に着手し地区全体の整備を行います。

- 情報化社会構築
- 市が保持している公共データをオープンデータとして積極的に公開します。

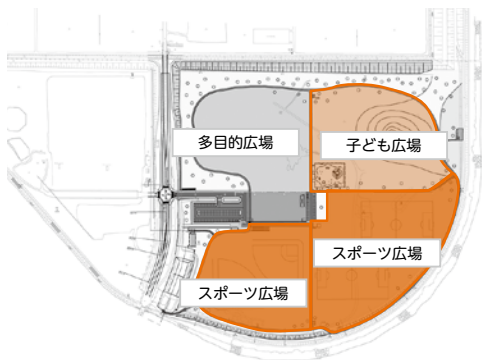
- 自然・環境保全分野

- 鷹入の滝の整備を進めるなど安来市の美しい風土を保全し、有効に活用します。

- 太陽光やバイオマスなど再生可能エネルギーの利用・普及ごみのリサイクルなど環境にやさしい取り組みを進めます。

- 中海ふれあい公園

- 平成30年度の完成に向け、スポーツ広場や駐車場造成工事を進めます。



▲約31%の広大な面積を持つ中海ふれあい公園（中海町）。スポーツ広場や子ども広場などを平成30年までに整備します。

参画・協働・行財政

- 新安来庁舎

- 5月の竣工、7月末の開庁に向けて工事を順調に進めています。市民サービス、中心市街地活性化、防災等、あらゆる面で本市の行政運営の拠点として、その機能を発揮していきます。

- 引き続き、外構や車庫棟等庁舎周辺整備を行います。また、災害時の一時避難場所となる防災棟の建設に着手し、防災公園整備事業も進めていきます。

- 地域コミュニティの育成

- 交流センターが地域住民と共に地域課題解決に向けた学習・実践活動を行う「がんばる地域おこし支援事業」や地域づくりの担い手育成や地域活動の助成を行う「地域づくり推進事業」を実施します。

- 地区交流センターの改修工事等の環境整備を行い、特色ある地域づくりを支援します。

- 広域連携

- 経済圏を共有する中海・宍道湖・大山圏域市長会とたたら製鉄文化を共有する鉄の道文化圏



▲7月末に供用を開始する安来庁舎。建設は進み、西棟は姿を現しています。

- 推進協議会という南北の圏域を中心に連携します。

- 中海・宍道湖・大山圏域市長会・人口・産業が集積する都市圏というスケールメリットを生かす

- して、圏域版の振興ビジョンや総合戦略に基づき産業・観光・環境など多岐にわたる取り組みを展開します。

- 鉄の道文化圏

- 今年、映画「たたら侍」が公開され、この圏域に注目が高まることと期待しています。この好機を生かし、日本遺産「出雲國たたら風土記」エリアブランド構築事業を進めます。

- 公共施設総合管理計画

- 施設総量25%削減という大きな目標に向け、施設の類型別のあり方に関する基本方針を踏まえ、緊急度の高いものから施設評価をもとに個別行動計画を早期に策定します。

今年度は、新安来庁舎スタートの年となります。この庁舎を基点に「人が集い 未来を拓くものづくりと文化のまち」の実現に向け、「結婚・出産・子育て支援」、「産業振興」、「住環境向上」、「魅力的な地域形成」を軸とした安来市まちひと・しごと創生事業をはじめ各分野の重点事業を着実に進め、市民の皆さんが住み良さを実感できる、持続可能なまちづくりにまい進します。

